

# 教育なかの

(題字 南宮中学校2年生 小林 文音さん)

平成24年度 秋号  
中野市教育委員会  
平成24年11月発行

## 教育を拓く知恵

- 1 学校適正規模・配置の審議が始まる
- 2 特集・つながる  
「キャリア教育で育む子どもの自立心」

### 小・中学校の適正規模及び

### 適正配置の審議が始まる

#### 第1回審議会開催

9月6日(木)、市役所会議室で第1回「中野市立小学校及び中学校適正規模等審議会」が25名(当日欠席2名)の委員の皆さんで開催されました。

審議会では、まず、各委員が自己紹介を行い、次に各委員

が審議会に向けた考えなどを発表した後、会長及び副会長を投票により選出しました。

結果、会長に小島哲也さん(信州大学教育学部教授)、副会長に清水正さん(元中野市教育委員長)が選出されました。

その後、土屋教育委員長から審議会へ左に掲載した諮問

24中教第411号  
平成24年9月6日

中野市立小学校及び中学校  
適正規模等審議会会長 様

中野市教育委員会  
諮問書

中野市立小学校及び中学校適正規模等審議会条例第2条の規定に基づき、下記の事項について諮問いたします。

#### 記

- 1 諮問事項  
中野市立小学校及び中学校の適正規模及び適正配置について
- 2 諮問理由  
本市は、近年の少子化の影響から、児童生徒が年々減少し、学校の小規模化が進んでいます。つきましては、本市における少子化時代の学校教育のあり方について検討するため、適正規模及び適正配置についてご答申をお願いいたします。

#### ▲審議会への諮問書

書を小島会長へ諮問しました。

各委員からは、これからの審議会の方向など、多岐にわたる意見が出され、今後の審議会において議論されていきます。

#### 審議委員の紹介

会長 小島哲也  
副会長 清水正  
委員 北澤逸雄、上原一雄、下川昌平、宮入靖、山岸洋子、山屋秀夫、市川和仁、市川大輔、太田智明、小林健一、小島佐和子、伊藤勇、酒井美智子、高木涼、湯本美奈子、伊藤賢治、海野忠文、藤沢英範、青木幸子、北原新一、柴垣顕郎、古川今朝治、湯本一(敬称略)

#### 通学路の

#### 緊急合同点検を実施

通学路の緊急合同点検は、8月2日(木)から24日(金)まで、道路管理者、警察署、保護者、学校関係者、教育委員会など延べ142人で実施し、現場では活発な意見交換や対策案が出されました。

今後は、対策案を早期に実



▲通学路緊急合同点検の様子

#### 緊急合同点検の箇所数(学校別)

学校名	点検箇所	学校名	点検箇所
中野小学校	10	平岡小学校	12
日野小学校	8	科野小学校	10
延徳小学校	8	倭小学校	7
平野小学校	14	豊井小学校	12
高丘小学校	14	永田小学校	9
長丘小学校	12	合計	116

施し、子どもたちが安全で安心して通学できるよう、各関係機関で検討していただくこととしています。

キャリア教育で育む子どもの自立心

教育コーディネーター 増田正明

今、なぜキャリア教育が必要か

少子高齢化・情報化・グローバル化が急激に進む現代社会において、地域や家庭のあり様が大きく変化し、子どもの精神的・社会的な自立にも大きな影響を及ぼしています。また、近年の産業・経済の構造的な変化や雇用の多様化・流動化などにより、子どもの進路をめぐる環境も大きく変化してきています。

このような社会情勢の中、「社会的・職業的に自立した人間の育成」を目指したキャリア教育が注目されています。

キャリア教育のねらい

では、キャリア教育でどのような能力を育てようとしているのでしょうか。

子ども一人ひとりが望ましい進路発達を成し遂げていくために、小学校・中学校・高等学校のつながりのある教育活動を通して、次のような能力を育てようとしています。

- ① 集団生活におけるさまざまな役割を理解し、自分の責任を果たす力（役割認識力）
- ② 他人の個性や考え方を認め、異年齢などさまざまな人と望ましい人間関係を築く力（コミュニケーション力）
- ③ 働くことの喜びや価値に気づき、様々な職業について理解する力（職業理解力）
- ④ 夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、自分の将来の人生や職業生活における夢や憧れを主体的に描く力（将来設計力）

家庭・地域・学校の連携

今、子どもたちは家庭・地域でどんな生活をしているのでしょうか。家庭では、お手伝いなど自分の役割を果たす機会が減っているのではないのでしょうか。地域では、自然や社会とかかわりながら遊ぶ・働くなどの体験が年々減少しています。

前述した①、②の育てたい能力がまさにそれです。さらに、③、④の能力に即して職業に直接かかわる体験活動を考えてみますと、小学校では

「農業体験」「商店手伝い体験」、中学校では「職場体験」などが行われています。いずれも地域の人の卓越したお力や、事業所の方のご支援・ご協力が欠かせません。このように、キャリア教育を進めていくためには、家庭・地域・学校が強い絆で結ばれていることが大切です。

中学校「職場体験学習」の充実を目指して

昨年までの「職場体験」では、中学校ごとに体験する事業所の開拓・確保を行ってききました。2学年の先生方は、授業の合間に大変な労力をかけて、事業所と折衝してまいりました。

本年度からは、その役割を教育委員会が担い、受入事業所の開拓・確保の窓口を一本化しました。そのことにより、職場体験を行う前と後の指導をゆとりをもって行うことができるなど、徐々に充実してきています。

支援組織の立ち上げ

前述したように、キャリア教育の推進のためには、家庭・地域・学校の連携は欠かせません。お互いが願っていることや考えていることを気軽に言える間柄になることで

す。そのために、11月には「中野市キャリア教育支援協議会」を立ち上げ、家庭・地域・学校を支える仕組みをつくろうとしています。協議会の構成委員は商工会議所・JA・経営者協会など産業界の代表者、小中高の校長・教頭・保護者の学校関係者及び行政関係者で、産学官の代表者です。

中学2年生「職場体験学習」新たな自分との出会い

○「お客さんの話をしっかりと聞いて理解して実践する。そうしないとお客さんに喜んでもらえる仕事にならない。」というお話を聞いて、美容師の仕事はただ技術が



▲保育園での職場体験の様子

1月	12月	11月
23日 下旬 第4回教頭会 定例教育委員会	下旬 定例教育委員会	1日 第2回中野市立小学校及び中学校適正規模等審議会
21日 県と市町村教委連絡会		6日 第5回校長会
16日 長野県市町村教育委員会連絡協議会		8日 小学校合同音楽会
9日 県と市町村教委連絡会		15日 中高等学校保健会研究会
8日 第6回校長会		19日 県と市町村教委連絡会
		21日 定例教育委員会

教育委員会の主な活動

必要だけでなく、人とのコミュニケーションも大切なんだと教えられました。（接客業）  
○私はいっしょに働きながら、表向きは見せないのに、裏ではとても苦勞していることがよく分かりました。（飲食業）